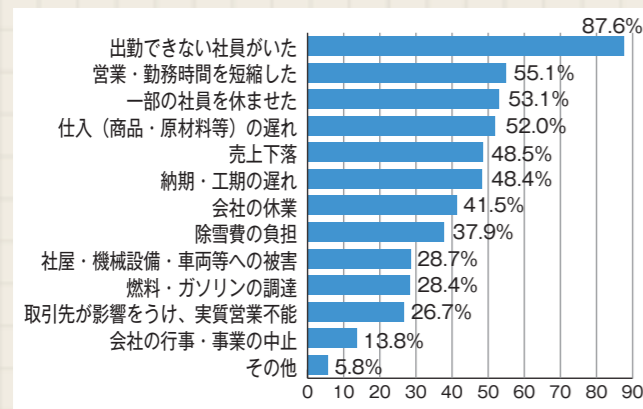


【グラフ2】豪雪の自社への影響の内容（複数回答）



の影響で来店できなかったことや消費マインズの停滞により売上が減少している。
 なお、社屋・機械設備・車両等の損害額および売上減少額については左記のとおりであった。

○**損害額**
 〈企業数〉 104社
 〈合計額〉 1億2194万円
 〈平均額〉 117・3万円

○**売上減少額**
 〈企業数〉 170社
 〈合計額〉 14億1140万円
 〈平均額〉 830・2万円

調査レポート Part.1

Report

豪雪の影響に関する調査

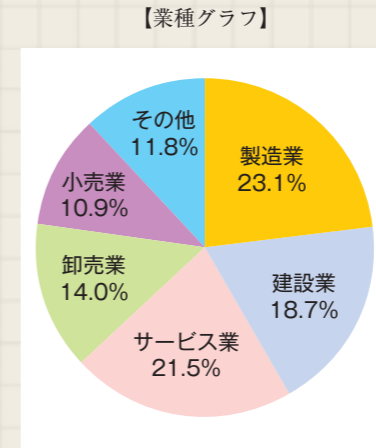
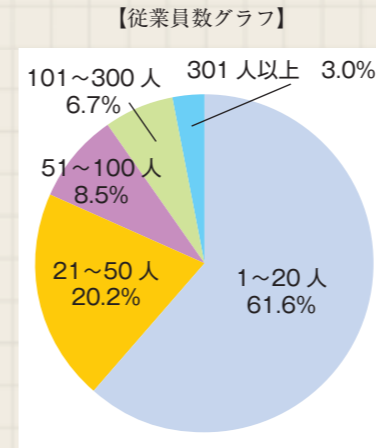
37年ぶりの豪雪、県内企業に大きな影響!

〔調査目的〕
 平成30年2月に発生した豪雪による県内企業の被害状況を把握し、今後の企業支援・相談業務に反映させることを目的に実施。

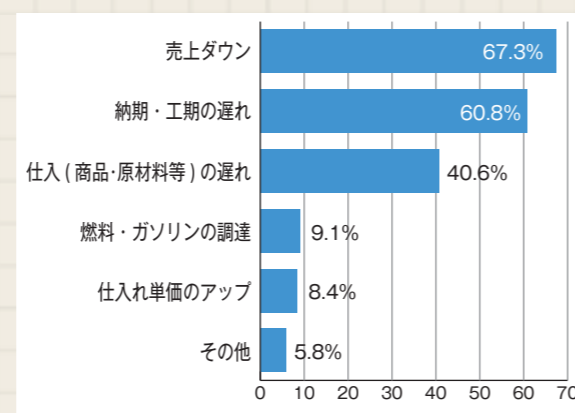
○期間
 平成30年2月15日(木)～19日(月)

○対象
 会員企業 4000社

○回収数
 884社(回収率22・1%)



【グラフ3】今後予想される影響（複数回答）



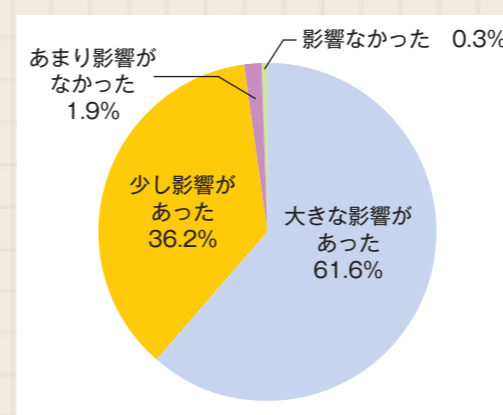
生産停止・休業状態による売上ダウンが懸念される

今後予想される影響については「売上ダウン」が67・3%と最も高く、次いで「納期・工期の遅れ（60・8%）」「仕入（商品・原材料等）の遅れ（40・6%）」と影響が売上や納期・工期などに及ぶことが危惧される。

業務正常化には時間が必要

業務正常化の時期については「既に正常に戻った」は7・0%。「2月中」に正常に戻ると

【グラフ1】豪雪の自社への影響



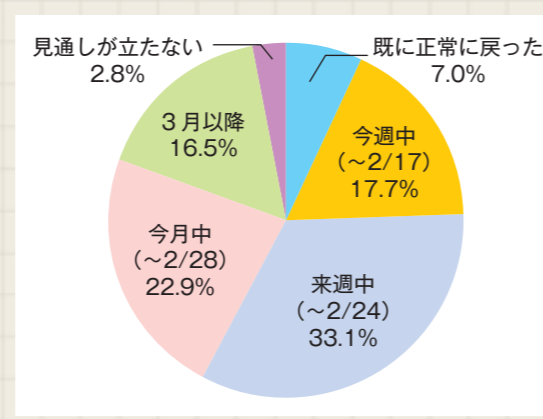
大多数の企業が豪雪の影響を受ける!

今回の豪雪の自社への影響については「大きな影響があった」が61・6%、「少し影響があった」が36・2%。豪雪が企業の経済活動に多大な影響を及ぼしていることが分かる。
 業種別で見ると小売業では「大きな影響があった」が75・5%、飲食業でも「大きな影響があった」が90・0%と雪により顧客の来店が妨げられた影響は大きかった。また、運輸業でも道路状況の混乱を原因に「大きな影響があった」が88・0%と高かった。

社員が出勤できず 事業運営に支障をきたす

自社への影響の内容については「出勤できない社員がいた」が87・6%と最も高かった。次いで、「営業・勤務時間を短縮した（55・1%）」「一部の社員を休ませた（53・1%）」「仕入（商品・原材料等）の遅れ（52・0%）」が高く、半数以上の企業に影響している。積雪による道路状況の悪化や交通の乱れが原因で社員が出勤できず正常な事業運営が難しくなり、また社員の安全配慮から勤務時間を短縮し企業は早期帰宅を促した。道路状況の悪化は物流にも影響し仕入の遅れにもつながった。

【グラフ4】業務正常化の時期



見越す企業は80・7%であるものの、「3月以降（16・5%）」「見通しが立たない（2・8%）」との回答もあり、全ての企業が業務正常化に至るには時間がかかるようである。業種別で見ると建設業では「3月以降（28・6%）」、小売業では「3月以降（25・0%）」と正常化には他業種以上に時間が必要だ。

豪雪の混乱を避けるためのアイデア・意見

豪雪の混乱を避けるためのアイデア・意見について企業から出された主な意見をまとめた。

- ・北陸自動車道と国道8号線を止めない。公共交通機関の運行確保
 - ・除雪体制の見直し（除雪の優先順位／国・県・市町村間の情報共有など）
 - ・行政が緊急事態宣言を全国マスコミに告知（雪国でないと大雪の程度を認識できずに取引先から納品を強要される）
 - ・SNS上に豪雪情報ページをつくり道路状況や除雪の進捗情報などを全員でシェア
 - ・タイヤに簡単に装着するスパイクに近いゴムバンドの開発
- ※調査結果の詳細は福井商工会議所HPをご覧ください。

「豪雪災害特別相談窓口」利用のご案内

福井商工会議所では豪雪により影響を受けた中小企業の金融・経営支援を実施する相談窓口を設けています。ご相談を希望する際は左記までご連絡下さい。

〔連絡先〕
 福井商工会議所 金融・税務相談課
 TEL0776(33)8284